

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3577200904		
法人名	有限会社 にこにこ苑		
事業所名	グループホーム なのはな		
所在地	山口県岩国市玖珂町1020-3		
自己評価作成日	平成24年9月27日	評価結果市町受理日	平成25年4月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度ホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://kaigosip.pref.yamaguchi.lg.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 やまぐち介護サービス評価調査ネットワーク		
所在地	山口県山口市吉敷下東3丁目1番1号 山口県総合保健会館内		
訪問調査日	平成24年10月31日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> ・寝たきりにしない為、常に起きて頂き皆さんの輪の中に入れてもらう。 ・ユーセン放送をとり入れ、常に気持ちの良い音楽が流れている環境作り
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>管理栄養士による献立で三食とも事業所で調理しておられ、年1回、利用者に食事の希望調査を実施され、利用者の嗜好を把握して、希望やニーズに応えた食事を提供されています。アンケート調査結果には「朝食にパンを週3回ほしい、三食とも汁物をつけてほしい、ちらし寿司を入れてほしい」などの具体的な要望があり、それらを考慮されて食事が楽しめるように工夫しておられます。有線放送を事業所に導入しておられ、BGMとして聴かれたり、歌に合わせて体を動かしてみたり、一緒に歌ったりされるなど活用しておられ、利用者も音楽を楽しまれています。職員の資格習得に向けた支援を行っておられ、多くの職員が介護福祉士や介護支援専門員の資格を習得しておられる他、外部研修や内部研修の機会を確保され、職員を育てる取り組みをされています。</p>
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
57 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	64 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
58 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	65 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
59 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
60 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員は、活き活きと働けている	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが ○ 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	69 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
63 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	4つの理念を作成しその1つに「地域での生活を大切に」と掲げ毎朝のミーティングで唱和し、共有と実践に努めている。朝の申し送り運営年での唱和をして本日の担当職員で共有し実践するようにしている。	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、毎朝のミーティングで唱和し、管理者、職員共に理念を共有して、実践につなげている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩や買い物途中など地域の方と出会うと挨拶をしたり会話を交わして交流をしている。正月に地域のどんど焼きに招待されお神酒やぜんざいをすぐそばの田んぼで頂いている。	自治会に加入し、地域行事などの情報の提供や協力があり、どんど焼きや地域の祭りに参加している。ボランティアや地域の子供達の来訪があり交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	いつでも相談援助ができる様に職員一人一人の力をつけ職場全体の資質向上に向け資格修得に励んでいる。		
4	(3)	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	評価の意義を理解しており、自己評価は職員全員で取り組んでいる。指摘を受けたところの改善には努めている。職員会議の中で研修を行っている。	評価の意義を理解し、自己評価は全職員が記入して、項目毎に話し合っ取り組んでいる前回の外部評価結果を受けて、身体拘束についての研修を実施するなど、具体的に改善している。	
5	(4)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者、家族地域の方々と意見交換をして、意見については、検討するようにしています。	自治会長2名、民生委員、第三者委員、学識経験者、家族、利用者、地域包括支援センター職員等が参加し、2ヶ月に1回開催している。サービス状況や行事の報告をし、意見交換をして、看取りについての提案等、意見をサービスの向上に活かすよう努めている。	
6	(5)	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	毎月初めに利用状況など報告している。	市担当課に直接出向いて、事業所の実情やサービスの取り組み等を報告し、協力関係を築くよう取り組んでいる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	(6)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	①原則として見守りや対応策でケアに取り組んでいる。緊急やむおでない場合に限り最小限、(マットこーる・2本柵)は家族の許可を頂き実施して安全柵をとっている。	職員は身体拘束ゼロの手引きにより研修を行い、身体拘束について正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。玄関に施錠はしていない。	
8		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	利用者さんへの言動・暴力行為等虐待禁止は介護の基本なので職員会議で勉強し、職員全員理解している。		
9		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	2名の利用者の方がおられるが職員が全員熟知しているように研修の場は設けていない。		
10		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	その都度利用者の家族と話し合いの時間をもち説明をし理解納得をして頂いている。		
11	(7)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等からの相談、苦情の受付体制や処理手続きを定め周知するとともに、意見や要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会は自然消滅になっているが利用料金支払時に各利用者さん御家族との会話をもっている。	苦情の受付体制や第三者委員を設置し、処理手続きを定め周知している。毎月の利用料の支払い時、家族の面会時に意見や要望を聞く機会を設けている他、電話連絡にも対応している。毎月家族に利用者の近況報告の便りを送付している。	
12	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の職員会議、またはその都度職員は意見・提案をすることができる。	毎月の職員会議や日々の業務の中で職員の意見や提案を聞く機会を設けている。意見は運営に反映させている。	
13		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	最善の職場環境に努めているが、体長不良等欠員が出来た時は職員さんに無理なお願いをすることもある。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14	(9)	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修案内があれば随時参加を進めている。事業所内部の研修会も行い、研修後は報告書の提出。職員会議等で発表してもらい職員全員が研修内容の共有が出来る様になっている。	2名の研修委員を中心に研修計画に基づいて内部研修を行っている。外部研修は、受講の機会を提供し、受講者は報告書を提出する他、内部研修で復命し、職員全員で情報を共有している。資格取得の支援もあり、多くの職員が介護福祉士や介護支援専門員などの資格を習得している。	
15		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム全国大会・岩国市地域密着型サービス事業者連絡協議会等参加して交流を図る。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
16		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	仮入居申し込み時・相談時等、本人の意見や思い不安や要望を聞く機会を設け受け止める様にしている。		
17		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	仮入居申し込み時・相談時等、ご家族の意見や思い不安や要望を聞く機会を設け受け止める様にしている。		
18		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	「その時」必要な支援を見極め、他のサービスの利用も含めて化膿な限り柔軟な対応するように努めている。		
19		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る事は一緒に行っていると共に利用者の今までの職業や生活習慣、体験等を行かせるように日々の暮らしの中で助言や教えを頂き職員と利用者が支え合って生活している。		
20		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族とは密に情報交換をし利用者さんの状況を伝えている。状況を知って頂く事で共に支え合う関係を築いている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21	(10)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	昔からの友人や知人が面会に来られ一緒に時を過ごされていて継続しての交流がある。	友人や知人の来訪がある他、家族に年賀状を出す支援している。家族の協力を得て、外泊や馴染みの理美容院の利用、ドライブ、外食など、馴染みの人や場所との関係が途切れないように支援している。	
22		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションや行事等で交流を深めそれぞれの個性が生かせる様にしている。		
23		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院の場合お見舞いに行っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
24	(11)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中でコミュニケーションを密に行い、意向や希望の把握につとめている。表情や態度等からも思いを把握するように努め家族からも情報を得る様にしている。1/Mユニット会議で各利用者さんの検討をしている。	日々の生活の中で、利用者の声や気持ちを聞くことに努め、一人ひとりの思いや意向、暮らし方の希望を把握している。困難な場合は家族に相談したり、生活歴を把握し、本人本位に検討している。	
25		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの生活歴や環境等について利用者さんやご家族に話を聞いたり日々の交流の中で尋ねたりして把握に努めている。		
26		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の関わりの中で、利用者一人一人の生活のリズムや心身状態を把握するように努めている		
27	(12)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者の家族の意見や要望を聞きながら介護計画に反映している。職員全員が課題を共有し解決できる様にユニット会議を行っている。	利用者、家族の意見や要望、主治医の意見を参考に毎月行うユニット会議でカンファレンスを行い、現状に即した介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に行い、6ヶ月毎に見直しをしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の心身の状況、変化、言動等記録し情報の共有に努めている。		
29		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者の家族の状況に応じて、受診時付き添いや送迎等柔軟に対応している又音楽療法や訪問サービス(散髪)を利用している。		
30		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	日本舞踊・マジック等ボランティアさんの訪問により豊かな暮らしに近づく様になっている。		
31	(13)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	当事業所の協力医のほか本人や家族の希望の係りつけ医にも受診している。訪問診療や往診も行われている。利用者それぞれの係りつけ医と連携しながら適切な医療を受けられる様に支援している。	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診の支援をする他、往診がある。他科受診や緊急時にはかかりつけ医の紹介状をもらうなど、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	
32		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	准看護師が勤務時自己血糖値計測される。		
33		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者入院時は見まいに行くなどして医療機関や家族等と情報交換をしている。		
34	(14)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人や家族の意向を考慮しつつ事業所で対応できる事、できない事を状況に応じて話し合い方向性を決めている。	重度化や看取りの支援を行いたい看護士の確保が課題で、今後かかりつけ医や家族の意向を尊重しながら検討していきたいと考えている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(15)	○事故防止の取り組みや事故発生時の備え 転倒、誤薬、行方不明等を防ぐため、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組むとともに、急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身につけている。	一人一人の日々の状態を把握し、予測される危険を検討し事故防止に取り組んでいる。緊急時マニュアルに沿って対応し救急救命(AED)等の訓練をしている。	ヒヤリハット報告書、事故報告書に記録し、原因や対策を分析し、一人ひとりに応じた事故防止に取り組んでいる。緊急時マニュアルに沿って応急手当や初期対応の訓練、AEDの研修などを行い、救急救命時に備えている。AEDを設置している。	
36	(16)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時のマニュアルを作成し、消防署の指導による消火訓練や避難訓練を行っている。自治会には加入しており、災害時には地域住民の協力を得られる様に、働きかけている。	年2回消火訓練や避難訓練を行っている。自治会に加入し、運営推進会議で地域との連携について話し合っているが、具体的な協力関係を築くまでには至っていない。	・地域との協力体制の構築
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
37	(17)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人情報の取り扱いや秘密保持に関しては十分に配慮している。言葉掛けや対応にも十分に配慮して支援している。	接遇やプライバシーの保護についての研修を実施し、職員は正しく理解しており、一人ひとりの人格の尊重やプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	
38		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々コミュニケーションをとりながら思いや希望を把握できるように努めている。意思表示のない方は2つの選択支の中から選んで頂くなどしてご本人に決定して頂いている。		
39		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れはあるがその中で、一人一人が自分のペースで過ごせるように支援している。		
40		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入浴時の着替えは利用者さんに選んで頂くかまたは一緒に選ぶようにしている。訪問美容時本人さんの希望される髪型にしている。日々の整容についても配慮している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41	(18)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の重度化に伴って一緒に準備、後片づけという分けにはいかなくなったが野菜の下準備等出来る事は行って頂き、バランスの良い食事提供をしている。アンケートをとり好き嫌いを聞き楽しみが増える工夫をする。	管理栄養士による献立で、三食とも事業所で調理している。簡単な下ごしらえなど利用者のできることを職員と一緒にして、食事を楽しむことのできる支援をしている。年1回食事の希望調査を行い、食事が楽しめるように工夫している。	
42		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の希望も考慮し管理栄養士により献立が作成されている。食事や水分摂取量はチェック表に記入し把握している。嚥下困難の方は好みの飲み物やゼリー状にした物等で水分摂取を計っている。		
43		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアの重要性については職員全員が理解をし食後必ず口腔ケアを実施し、利用者の状態に応じて見守り介助を行う。就寝時は義歯は薬液で消毒しコップ・歯ブラシは週1回消毒し清潔保持に努めている。		
44	(19)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を利用して一人一人の排泄パターンを把握して適切な時に介助や声掛けが出来る様に努めている。しれぞれに合ったトイレでの介助を心掛け、残存機能を生かし自立支援を計るようにしている。	排泄パターンを把握し、一人ひとりに合わせた声かけや誘導でトイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援をしている。	
45		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給を十分心掛けており、摂取しやすい形態にして提供したり腹部マッサージなども行っているオリゴ糖も利用してみた。電気治療される方もいる		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46	(20)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	本人の意思を確認し無理強いはせずタイミングや声掛けを工夫している。また体調に合わせて清拭足浴なども対応、入浴中はコミュニケーションを計りながら個々に応じた支援を心掛けている。	毎日、午後から入浴が可能で、週3回は入浴できるように利用者の希望やタイミングに合わせて支援している。入浴時は利用者とのコミュニケーションを大切にして、入浴を楽しむことができるように支援している。	
47		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	食後、入浴後その他利用者の日々の身体状態を見ながら休憩、昼寝の声掛けを行っている。居室の温度、寝具等に配慮し気持ち良く眠れるように心掛けている。		
48		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬説明書を個人別にファイルして管理し職員がいつでも閲覧できるようにしている。服薬時は確実に服用して頂いたか最後まで確認する事になっている。		
49	(21)	○活躍できる場面づくり、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々のレク活動では各自歌、ゲームなど得意分野で楽しんで頂く様に支援している。また家事等願出来そうな仕事をして頂き感謝の気持ちを伝えている。	歌、ゲーム、縫物、音楽療法、お膳拭き、洗濯物干し、音楽の好きな利用者はBGMでの有線放送を楽しむなど楽しみ事や活躍できる場面をつくり、気分転換の支援をしている。	
50	(22)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近隣のスーパーやドラッグストアへの買物や散歩ドライブ等は希望時や状態に応じておさそいし気分転換を図っている。四季折々のお花見、ドライブ等戸外に出かける機会を支援している。	散歩、スーパーやドラッグストアへの買物、ドライブに出かけている。家族へも参加を呼びかけて季節の花見等に出かけられるように支援している。	
51		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金に関しては苑で預かっている。小銭を自分で管理しておられる方もいる。苑の買物の時順番にお連れし目の保養をして頂いている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
52		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状を御家族に書いて頂いている。ていきくにお電話を下さるご家族がおられ楽しく会話されています。希望があれば利用者様から電話出来る様お手伝いさせて頂いています。		
53	(23)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じた壁面工作を掲示し有線放送による音楽を常に流したりと穏やかに過ごして頂ける様に工夫している。	共用空間は温度や湿度、音などに配慮している。季節の花を飾り、壁面には季節の飾りつけをして、リビングから外を眺めながら季節感を感じることができる。BGMとして有線放送が流れて、居心地良く過ごせるように工夫をしている。	
54		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングの一角にあるソファに肩を並べて座り会話したり、TV観賞したりして親近感をもって頂いている。		
55	(24)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様の好きな花やご家族と共に写った写真を飾ったり、仏壇を置かれ朝晩手を合されて気持ちが安定し、心穏やかに過ごしておられる。	花を活け、趣味の小物や家族写真を飾り、仏壇に位牌や遺骨を置いている利用者もある。専用手すりを設置している居室もあるなど、利用者が安心して過ごせるように工夫している。	
56		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ、居室が分かるように表示したり、立位が保てる様に足腰強化訓練の実施を行う。特に歩行が困難だが自力で歩かれる方は専用手摺を居室内に設置する。トイレ内立位時頭部を保護するクッションをつける。		

2. 目標達成計画

事業所名 グループホームなのはな

作成日: 平成 25年 4月 10日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	重度化されるも病院に入院よりは、なのはなに おきたい最後までここで見てもらいたいと言わ れる希望にこたえられない。	正看護師さんを導入をして重度化された方・ 看取りを希望されるなどご本人やご家族の 意向を考慮した対応が出来る環境作りをし て行く。	知人・友人・ハローワーク等看護職員募集の ネットワークを持ち正看護師の導入が出来る様 にする。	H26.3月
2	36	自治会加入はしているが自治会の皆様との触 れ合いが年1回どんど焼きの時のみで運営推 進会議に2名の自治会長さんの出席はあるもの のそれ以上の関わりを持つことへの発展が 出来ていない。	地域との協力体制の構築 特に災害時の手 助け避難訓練等のお手伝いをお願いが 出来る様にする。	関係自治会長さんと連絡を密に取り地域の 行事には極力参加をし我施設においても地域 の方をお誘い出来る催しを開催し馴染みの 関係を作る。まず玖珂中学生の職場体験実習 を受け入れる。	H26.3月
3	44	排泄の自立に向けた支援を行ってはいるが まだまだ紙パンツやパットに頼っている所 がある	職員がまちまちな対応ではなく職員全員 が排泄の自立に向けた支援が行えるよう にし、排泄の失敗やオムツの使用を減ら していく。	再度職員の排泄自立支援の重要性等の 勉強をして職員全員の支援が同等レ ベルで対応できる様にする。	H26.3月
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。